

# 五感を使った食育体験プログラム推進事業

## 自治体情報

人 □ 51,498人

標準財政規模 12,116,950千円

担当課 佐賀県 武雄市 こども部食育課

電話番号 0954-23-9217

ホームページ <http://www.city.takeo.lg.jp/>

事業期間 平成20年度から平成22年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ①, ⑩

## 施策の概要

### 1 取り組みに至る背景

小学生の保護者を対象にした生活習慣病実態調査(H18)では、食生活に関して5割以上の方が悩みを抱え、また、乳幼児健康診査等では乳幼児の食事に悩む保護者が多い。

子供達の心と体の健康に「食」はとても大切なものである。近年は、栄養の偏りや不規則な食事などの問題があり、子供と保護者へ地域の人・団体が適切な支援をすることが必要である。

### 2 事業内容(目的・目標・方策)

子育てにおいて食の知識や健康的な食事を選択する力は重要であり、子供と保護者が食に関する知識を習得し、望ましい食生活習慣の定着のためには、様々な体験活動を重ねることが必要である。

「食」を中心とした活動を通して子育て支援に取り組む団体(福祉教育・保健医療・農業分野の団体や飲食店など)と行政が地域の子育てをめぐる課題の共通認識を築き、相互の働きかけにより、より効果的な事業・活動を作り上げていき、子供達が心身ともに健やかに育つ環境づくりを目的として進めていった。

○協働推進セミナー 6回

○食育体験プログラム 研究・開発及びモデル事業実施

(※ 資料1参照)

### 3 施策の開始前に想定した事業効果

本事業実施により子供の食について保護者の関心が高まり、保護者自身の食生活の振り返りによる改善や家庭での教育力の向上へと繋げることができる。さらに家族で食事作りなどを行うことで親子の触れ合いを増やし、児童の健全育成に多大に寄与することができる。

**かばいとか武雄の食育推進計画(H20-22)**

食生活における生活習慣病実態調査の結果、市民の意識に合わせて健全な心身を築く、豊かな人間性を育むための食育を推進することが重要課題となっています。このため、食育に関する食育推進の方針を、食育、地域、保健医療、団体より食育推進計画を策定し、「かばいとか武雄」の食育を推進するもの(かばいとか武雄の食育推進計画)を策定し、この計画の推進を図ります。

**たけおの食育**  
 食育とは、「楽しく」「楽しく」「楽しく」を旨として食育を進めよう。食育は食生活、心身ともに元気に食育を推進するもの(かばいとか武雄の食育推進計画)を策定し、この計画の推進を図ります。

**楽しく！健康！おいしい野菜、おなごで食育はじめよう！**

**食に感謝し、誰やかに食を楽しむ人づくり** / **食文化を後につくつ花開く地域づくり**

**食育体験プログラム**  
 食育体験プログラムは、食育体験プログラム「かばいとか武雄」を推進するもの(かばいとか武雄の食育推進計画)を策定し、この計画の推進を図ります。

**みんなで食育にチャレンジ**  
 それぞれのライフステージによって食育のあり方は異なります。そこで、食育の生活習慣に合った食育推進を図ります。

**妊娠期**  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。

**乳幼児期**  
 ○乳幼児の食育、食生活に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。

**学童・思春期**  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。

**青年・壮年期**  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。

**高齢期**  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。  
 ○食育に関する知識や情報を積極的に習得し、食育に積極的に参加しましょう。

**つながれ かわかれ 食育の輪**  
**楽しく食育はじめよう！ Let's 食育**

詳しくは、武雄市ホームページをご覧ください。武雄市こども部食育課 電話 0954-23-9217

また、事業を推進する行政と地域団体は、子育て時期における食生活習慣（栄養バランスや食事のしつけ）の課題について共通認識が持て、より効果的な事業・活動を作り上げることができる。

#### 4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

より多くの子供や保護者が食生活の大切さや望ましい食生活習慣について理解を深めるために、親子を対象にした、野菜づくり体験（教育ファーム）や料理教室、楽しい食卓の絵の募集や食育の日の啓発チラシの配布など多様な食育体験プログラムを展開した。

また、行政と各種団体等との協働について、食育に関心が高い団体や子育てを支援する団体が、議論を重ね課題を共有するだけでなく、自分たちのノウハウを持ち寄り、自ら汗をかき、協働で食育体験プログラムを企画・運営した。プログラムの運営に際しては参加者アンケートなどから効果を検証し、プログラムについて継続的に改善を図った。

#### 5 現在の成果・実績、今後の展開など

子供の食について、正しい知識の習得や食生活習慣の改善が図られつつある。また、家庭で食卓を囲むことや親子で料理をすることなどが大切だと感じる保護者が増えている。プログラム体験者は、地域や様々な団体と交流し、親子で同じ体験をしたことで絆が深まり、心豊かな人間性を育んでいる。

協働推進セミナーをきっかけに、各種団体に協働の意識が高まり、回を重ねるごとに課題認識や目的意識を共有化することができ、行政と連携しながら食育体験プログラムを企画運営している。また、参加者アンケートなどから効果を検証し、継続的な改善を図っている。結果として、創意工夫に富み充実した内容へと進化し、より効果的な事業となっている。



### 予算関連データ 武雄市

平成20年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
2,158千円		2,000千円	0千円	0千円	101千円	57千円
①～④の名称・所管等	名称	児童環境づくり基盤整備事業費補助金(児童育成事業推進等対策事業費)				/
	所管	厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 育成環境課 子育て支援係				
	金額	2,000千円				
	補助率	定額				

